



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2022/5/22 Rd-4 AUTOPOLIS

天候：晴れ 気温：24℃ 出走台数：21台

観客数：21日(土)3,400人 22日(日)5,100人 合計8,500人

好天に恵まれたオートポリス、スタート時点で気温24度、路面温度は44度まで上がる陽気。しかし強く吹く風は冷たく、雲が日光を遮ると体感温度はぐっと下がって感じる。牧野選手は2列目3番グリッド、大津選手は10番グリッドからスタートに向けて集中力を高めていく。牧野選手は狙い通りにスタートでポジションを上げ2番手ポジションで1コーナーへ。大津選手は出遅れてしまい12番手にドロップしてしまう。そのオープニングラップの3コーナーでコースアウト車両が発生したため、セーフティカーが導入される。レースは3周目終了時点でリスタート、その翌周5周目、牧野選手は平川選手に先行され3番手となってしまった。その同じ周に再びアクシデントが発生しセーフティカーが導入され、9周目にレースは再開された。10周目を終えタイヤ交換ウィンドウが開くと、チームは牧野選手をピットに呼びタイヤ交換を済ませる。翌11周目には大津選手もタイヤ交換を行い、一つポジションを上げてコースに復帰した。この時点で牧野選手はタイヤ交換済グループの2番手、大津選手は4番手と、クリーンエアの中プッシュを続けてタイムを稼ぎたいところ。ところが、ステイアウト戦略をとった上位グループが1分30秒前半でラップするのに対し、牧野選手は1分30秒後半から31秒台とペースを上げられない。大津選手も同じくペースが上がらず苦しい展開となる。牧野、大津両選手は集団の中でポジションを守り切るも、牧野選手6位、大津選手9位でゴール。共にポイント獲得でレースを終えた。

5：牧野任祐 6位 HONDA 勢3位

スタートは良く2番手までポジションを上げることが出来ました。セーフティカー導入などに対応し、戦略も上手くいき、クリーンエアの中順位を上げていくつもりでしたが、上位陣のペースには届かず、結果的に優勝争いには加わることはできませんでした。

予選では良いパフォーマンスを見せることが出来ましたし、戦略もよく、車の速さもありませんが、今回レースペースで大きく差が開いた部分など、良い部分、足りない部分をしっかりと精査して次戦に臨みます。

6：大津弘樹選手 9位 HONDA 勢5位

スタートの失敗が大きかったです。ピット作業でもコース上でもポジションを上げることが出来、順位を戻すことが出来ましたが、それ以上に追い上げるペースは無く、苦しいレースとなりました。予選とスタートのミスで、車が持つ速さを生かすことが出来なかったのが悔しいです。シーズン中盤に向けて、前半戦を振り返り、チームと共に速さと強さを追求します。